

指定文化財の状況

○ 国 指 定

(R5. 5. 1 現在)

市町村名	名 称	指定種類	所有者	所在地	指定年月日	摘 要
旭川市	旧旭川偕行社	重要文化財	旭川市	旭川市春光5条7丁目	H元. 5. 19	陸軍第七師団の将校のクラブ施設として明治35年に建築され、第七師団の会議、研修会や宴会、宿泊等に使用された。平成6年からは彫刻美術館として活用されている。
名寄市	名寄鈴石	天然記念物	市・個人	名寄市宇緑丘109番地	S14. 9. 7	褐鉄鉱という鉱物の一種。外の皮は鉄分のため固くなり、内側の核となった粘土や砂が崩れて、振ると音がするので「鈴石」と命名された。
	名寄高師小僧	〃	北海道	名寄市宇瑞穂	〃	褐鉄鉱の仲間の沼鉄鉱の一種。直径が1~5cmほどの筒状の形をしている。もともと愛知県豊橋市高師原から多く産出したのが名前の由来。
	ピリカノカ 九度山 (クトゥンヌプリ)	名 勝	国 北海道	名寄市宇日進 名寄市宇智恵文	H21. 7. 23	九度山は標高673.6mの山で、名称はアイヌ語の「クトゥンヌプリ」(岩崖がある山)に由来します。非対称の山稜と山頂に岩稜のある山容は、先住のアイヌの人たちにとって日々の祈りの対象であり、狩猟の時の目印として大切な山でした。
上川町東川町美瑛町(新得町)	大雪山	特別天然記念物	国・北海道	上川郡上川町、東川町、美瑛町、新得町、富良野市、上富良野町、南富良野町	S52. 3. 15	大雪山は高山植物の種類が豊富で、頂上付近のほぼ全域に高山植物群落があります。また、野生動物の宝庫でもあります。日本最大の天然保護地域になっており、学術上の価値も大変高い地域です。
南富良野町(夕張市)	夕張岳の高山植物群落及び蛇紋岩メランジュ帯	天然記念物	国	南富良野町、夕張市	H8. 6. 19	夕張岳には、超塩基性の生物と結び付いた極めて希少な蛇紋岩変形植物が育成し、一帯には世界的にもまれな蛇紋岩メランジュが広く分布している。
北海道	アイヌ古式舞踊	重要無形民族文化財	保存団体(指定時8保存団体) 北海道アイヌ古式舞踊連合保存会 旭川チカプニアイヌ民族文化保存会、白老民族芸能保存会、平取アイヌ文化保存会、静内民族文化保存会、浦河ウタリ文化保存会、帯広カムイトウウボボ保存会、春採アイヌ古式舞踊釧路リムセ保存会、阿寒アイヌ民族文化保存会	—	S59. 1. 21	アイヌの人々によって伝承されている独自の信仰に根ざしている歌舞で、その様式には古い形態をとどめているものが数多くあります。特に、信仰と芸能と生活が密接に結びついているところに特色があり、芸能史的な価値が高いものです。 保存団体(指定時の8団体ほか) 札幌ウガボ保存会、千歳アイヌ文化伝承保存会、鶴川アイヌ無形文化伝承保存会、門別ウタリ文化保存会、新冠民族文化保存会、三石民族文化保存会、様似民族文化保存会、弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会、白糠アイヌ文化保存会
※地域を定めず	北海道犬	天然記念物	—	—	S12. 12. 21	古くからアイヌの人々がクマ狩りやシカ狩りなどの狩猟のために飼育していた日本犬の一種で、俗にアイヌ犬と呼ばれています。
	ウスバキチョウ	〃	主な生息地 北海道	—	S40. 5. 12	大雪山等に生息する高山蝶で、わが国の氷河時代の遺存種としてその価値はきわめて高い。
	ダイセツタカネヒカゲ	〃	—	—	〃	大雪山等に生息する高山蝶で、わが国の氷河時代の遺存種としてその価値はきわめて高い。
	アサヒヒョウモン	〃	—	—	〃	大雪山等に生息する高山蝶で、わが国の氷河時代の遺存種としてその価値はきわめて高い。
	カラフトトリシジミ	〃	—	—	S42. 5. 2	シジミチョウ科に属し、大雪山系、知床半島の羅臼岳、天塩岳、幌尻岳などの高地に生息する。
	ヒメチャマダラセセリ	〃	—	—	S50. 2. 13	セセリチョウ科の一種で、ヨーロッパ、シベリア、中国東部に分布するが、我が国では、アポイ岳の周辺のみ隔離分布し、遺存種と考えられる重要なものです。
	クマガラ	〃	—	—	S40. 5. 12	キツキ科に属し、キツキ類の中では最大の種類で、我が国では北海道に見られるほか、秋田県でも少数が確認されています。
	オオワシ	〃	主な生息地 北海道、石川県、福井県	—	S45. 1. 23	ワシカ科に属し、翼の開長は2mに近く、シベリア、サハリン、カムチャッカ半島などにおいて繁殖し、一部、本州まで南下するものも見受けられる。オジロワシは北海道でもかなり繁殖していたようですが、現在では根室、釧路、網走などオホーツク海沿岸に近い林地でわずかに巣が見られるにすぎません。
	オジロワシ	〃	主な生息地 北海道、新潟県	—	〃	ワシカ科に属し、翼の開長は2mに近く、シベリア、サハリン、カムチャッカ半島などにおいて繁殖し、一部、本州まで南下するものも見受けられる。オジロワシは北海道でもかなり繁殖していたようですが、現在では根室、釧路、網走などオホーツク海沿岸に近い林地でわずかに巣が見られるにすぎません。
	エゾシマフクロウ	〃	主な生息地 北海道	—	S46. 5. 19	知床から根室地方、日高地方に少数が確認されていますが、近年、個体数が著しく減少しています。
	コクガン	〃	主な生息地 北海道、青森県、秋田県	—	〃	ガンカモ科に属し、シベリアや北アメリカの北極海沿岸で繁殖し、北海道には、9月下旬頃から飛来し、風蓮湖や函館湾などが主な飛来地となっています。
	マガン	〃	主な生息地 北海道、青森県、宮城県等	—	S46. 6. 28	ガンカモ科に属し、シベリアやカムチャッカ半島で繁殖し、我が国に比較的多く飛来するガン。
ヒシクイ	〃	—	—	〃	ガンカモ科に属し、シベリアやカムチャッカ半島で繁殖し、我が国に比較的多く飛来するガン。	

○ 道 指 定

(R5.5.1 現在)

市町村名	名 称	指 定 種 類	所 有 者	所 在 地	指 定 年 月 日	摘 要
旭川市	神居古潭竪穴 住居遺跡	史 跡	国	旭川市神居古潭	S32.12.20	9世紀後葉から12世紀にかけての擦文時代のムラで、現在も219件の家の跡が窺いをみせている。
	屯田兵絵物語 附 屯田絵巻	有形文化財	旭川兵村 記念館	旭川市東旭川南1条6丁目3-26	H28.3.31	大分県から入植した一団が、小樽に上陸してから東旭川下兵村へ移動する様子、入植地の開墾、屯田兵としての訓練、当地での生活状況等、兵村に定着するまでの様子が絵図と文書で詳細に記録されている。
当麻町	当麻鐘乳洞	天然記念物	当麻町	当麻町開明4区	S36.3.17	昭和32年、石灰岩の採掘中に偶然発見された、全長135m、高さ7～8mの洞窟です。
東川町	羽衣の滝	名 勝	上川中部 森林管理署	東川町天人峡	S26.9.6	忠別川の支流であるアイシポップ沢と双見滝沢が合流し、高さ270mの絶壁を7段に屈折しながら落下しており、落差は北海道第1位を誇っています。
中川町	ナカガワニシン 化石	天然記念物	中川町	中川郡中川町字安川28番地9	R2.5.19	2004年発見された白亜紀後期の海水魚（アブソベリックス属魚類の新種）の化石。頭部から腹部までが立体的に保存され、紡錘型の体にはウロコや胸びれが認められる。この種類の化石はこれまで北アメリカとヨーロッパからしか発見されておらず東アジアから初めての発見であり、当時の海水魚類の分布や進化を考える上で重要な化石記録です。